

# 第 1 学年竹組 算数科 『2 学きのまとめ』 略案

指導者 中村 寛司

1. 日時 12月 15日 (金) 2校時 (9:20~10:05)
2. ねらい 繰り上がりのあるたし算、繰り下がりのあるひき算の習熟を図る。
3. 本時の実際 (3/5)

時 間	学 習 活 動 と 児 童 の 動 き	教 師 の 支 援 及 び 評 価 (◎評価)	セ ン タ ー の 先 生 の 支 援
9:20	1. 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                         2学きのべんきょうをしっかりみにつけよう。                          (たしざん、ひきざん)                     </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習の習熟度を把握し、あらかじめ文章問題コースから始める子どもを決定しておく。</li> <li>・すぐに学習に取り組めるように場を準備しておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶と自己紹介をする。</li> </ul>
9:25	2. センターの先生の出すたし算、ひき算の問題を考える。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算カードにより児童に問題を出す。(10問程度)</li> </ul>
9:30	3. コース別に問題に取り組む。	☆計算問題、文章問題コース 【15人程度】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算問題、文章問題のプリントを準備する。 (1枚10分程度で終わる問題量を目安に)</li> <li>・児童が自ら学習を進めることができるように、学習チェックカードを準備する。</li> <li>・机間巡視をしながら躓きが見られる児童の支援に当たる。</li> </ul> ◎各コースで用意したプリントの問題を正しく解くことができる。	☆問題づくりコース 【12人程度】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・後半、求残・求差の問題づくりの指導をする。場面の絵を提示する。</li> <li>・児童が作った問題を見て、必要な数字や適切な言葉がきちんと使われているかチェックする。</li> <li>・問題を見せに来た児童に対して賞賛したり、助言を与えたりする。</li> </ul> ◎場面の絵を見て、正しく問題づくりができる。
10:00	4. 振り返りカードに本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんばりが認められる子どもの振り返りを選び、発表の指名をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想や助言を話す。</li> </ul>